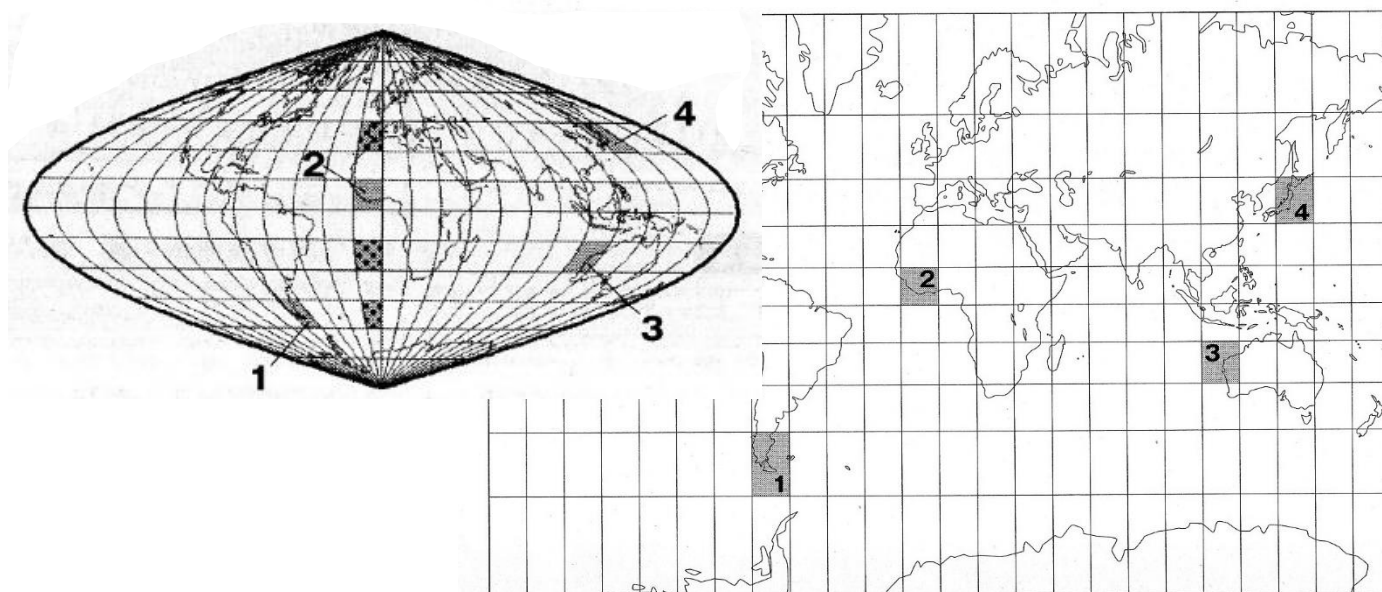
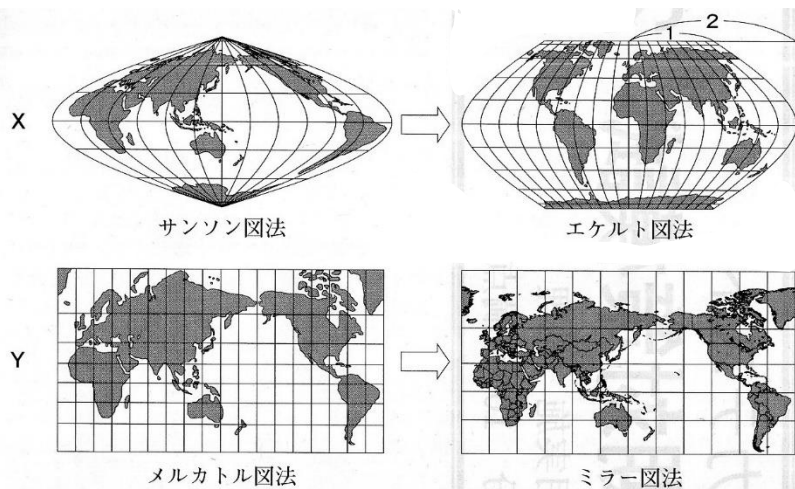


005 地図投影法⑤

下のマス目1, 2, 3, 4のうち、面積が最も大きいのは〔 〕



下の4つの図法のうち、分布図に適するのは〔 〕
何も適さないという図法が1つある。それは〔 〕図法。



右はオーストラリアのシドニーを中心に描いた正距方位図法である。

地点A、B、Cのうち、シドニーに最も近いのは地点〔 〕で、シドニーとの距離はおおよそ〔 〕kmである。

破線で描かれた円Xは南緯〔約 20° 30° 40° 〕である。

山脈E、F、G、Hのうち、一つだけタイプが違うのは〔 〕

陸地K、L、M、Nのうち、一つだけタイプが違うのは〔 〕

地点P、Q、R、Sに共通する大地形は〔 〕

